

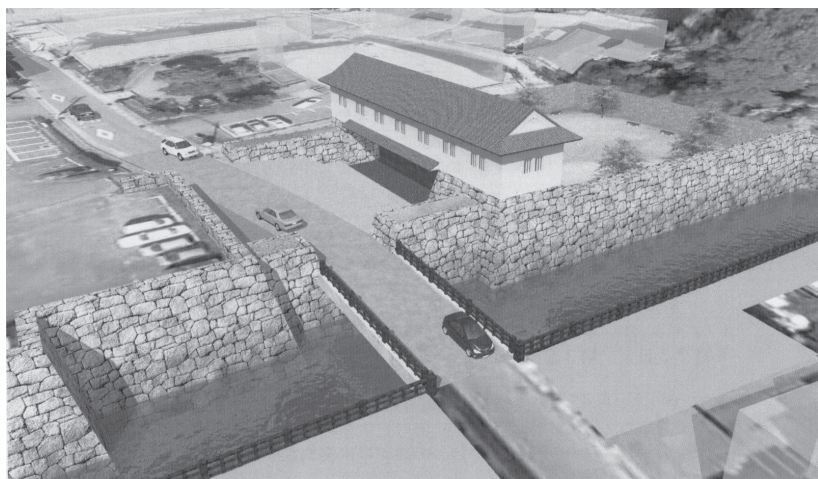
ふくしまの明日が見える

あした

— 2011年 —

公共・民間建設計画全容

限定版



福島建設工業新聞社

県 北 方 部

公共建築物

◆福島第2地方合同庁舎

- 事業主体 / 東北地方整備局
- 場所 / 福島市狐塚地内
- 概要 / RC造地上5階地下1階建て延べ6819㎡
- 事業費 / 総事業費21億4500万円
- 経過見通し / 福島市にある国出先官署の老朽化、狭あい化解消と耐震性確保のため、集約合同庁舎化し福島公共職業安定所と福島税務署間の敷地に新築する。自衛隊福島地方協力本部、東北公安調査局福島駐在官室、福島財務事務所、福島地方気象台、福島労働局が入居を予定。21年度の設計入りを予定していたが、現在、凍結されたまま。23年度の予算要求も行ってない。

◆東北運輸局福島運輸支局建替

- 事業主体 / 東北地方整備局
- 場所 / 福島市吉倉
- 概要 / RC造3階建て延べ1463㎡
- 経過見通し / 老朽建替として計画。
21年度に建物設計を行うため、簡易公募型プロポーザルを公示したが、手続きを取り消した。現在凍結中。23年度の予算要求も行ってない。22年度には下水道接続工事を実施した。

◆安達高校校舎・南棟耐震改修

- 事業主体 / 県
- 場所 / 二本松市郭内2丁目
- 概要 / 校舎・南棟＝RC造3階建て延べ3172㎡
- コンサル等 / 耐震基本計画：小島建築設計事務所
- 経過見通し / 同校では21年度から2期工事で、北校舎の耐震化を進めており、22年度で工事が完了。職員室や校長室のある南棟についても耐震改修を計画。21年度には耐震基本計画を策定。22年度以降での実施設計入り、改修工事等の発注を目指す方針。

◆保原高校南校舎大規模改造

- 事業主体 / 県
- 場所 / 伊達市保原町字元木
- 概要 / 南校舎＝RC造3階建て延べ3991㎡
- コンサル等 / 1、2、3期分実施設計：桂建築設計事務所
- 経過見通し / 21年度からの3期事業で南校舎の大

規模改造を計画。22年度は2期分として延べ1283.67㎡部分の内装改修等を実施。23年度には延べ1390.5㎡を対象に工事を行う見込み。

◆保原高校北校舎耐震補強

- 事業主体 / 県
- 場所 / 伊達市保原町字元木
- 概要 / 北校舎＝RC造4階建て延べ4110㎡
- コンサル等 / 耐震基本計画：田中建築設計事務所
- 経過見通し / 21年度は北校舎の耐震基本計画策定業務を委託。23年度以降に実施設計入りし、耐震化に向けた改修等の工事発注を目指していく。

◆川俣高校合宿所耐震化

- 事業主体 / 県
- 場所 / 川俣町飯坂字諏訪山
- 概要 / 合宿所＝S造2階建て延べ239㎡
- コンサル等 / 耐震基本計画：佐久間秀一級建築士事務所
- 経過見通し / 22年度に耐震基本計画を委託。業務内容は昭和54年築の合宿所の耐震補強設計、評価書取得など。今後は基本計画の作成を待って、23年度以降での実施設計入りを目指す。

◆梁川高校部室棟耐震化

- 事業主体 / 県
- 場所 / 伊達市梁川町字鶴ヶ岡
- 概要 / 部室棟＝S造2階建て延べ119㎡
- コンサル等 / 耐震基本計画：田中建築設計事務所
- 経過見通し / 22年度に耐震基本計画を委託。業務内容は昭和50年築の部室棟の耐震補強設計、評価書取得など。今後は基本計画に沿って整備を図っていく方針で、23年度以降での実施設計委託、改修等工事の発注を目指す。

◆県教育センター本館西棟耐震改修

- 事業主体 / 県教育センター
- 場所 / 福島市瀬上町字五月田
- 概要 / SRC造地下1階地上5階建て延べ1572.8㎡
- コンサル等 / 実施設計：小坂建築設計工房
- 経過見通し / 22年度に実施設計を行った。耐震改修中の東棟に続き、23年度に工事を行う予定。

◆県庁舎等改修基本計画策定

- 事業主体 / 県総務部
- 場所 / 福島市杉妻町2の59
- 概要 / 本庁舎＝RC造5階建て延べ2万991㎡、西庁舎＝SRC造12階建て延べ2万6348㎡

- 事業費／総事業費6179万5000円
- 経過見通し／当初予算では認められたが執行に当たり議会から建て替えと改修との事業費比較試算を求められており、庁舎の耐震度について客観的データ裏付けを行うための調査を山下設計に随意契約で委託。納期は今年度末。現況について既存のデータを活用し不足分は新規に調査。21年度当初予算の基本計画策定費の内訳にこの調査も含まれており、同費の中から1300万円程度を執行。22年4～5月ごろには調査報告を示す予定。西庁舎はC、本庁舎はDランク。

◆県営山下町団地全面的改善事業

- 事業主体／県北建設事務所
- 場所／福島市山下町地内
- 概要／RC造11階建て延べ1万707㎡（総戸数158戸）、内部改修（給排水管改修、内部仕上げ、設備更新）、外壁改修
- コンサル等／実施設計：田畑建築設計事務所
- 経過見通し／昭和49年築、県内最大規模の県営住宅で、耐震性は確保しているものの、内部・設備の老朽化が激しく全面的改善を行う。エレベーターホールを境に11階建ての南棟、10階建ての北棟に分かれ、躯体には手を加えず、間取り(2DK)もそのまま内部改修を行う。改修は1階から最上階までの設備配管系統ごとに区分し段階的に実施する計画で、21年度に北棟の各階2戸(1階ピロティ除く)ずつ計18戸、22年度も同様に18戸の改修を実施。計36戸が完了している。外部改修は20年度に実施済み。

◆蓬萊 14 号棟全面的改善事業

- 事業主体／県北建設事務所
- 場所／福島市蓬萊町4丁目
- 概要／住戸改善(40戸から30戸)、エレベーター新設、渡り廊下棟・駐輪場・物置増築
- コンサル等／実施設計：杜設計
- 経過見通し／県営蓬萊団地の全面的改善事業(トータルリモデル)の6棟目として計画。現建物(RC造5階建て延べ2410.42㎡)の躯体のみ残り住戸改善し、エレベーターなどを整備する。改修後は延べ床面積2439.57㎡となる計画。23・24年度の工事を予定している。

◆福島明成高校高校校舎耐震化

- 事業主体／県立福島明成高校
- 場所／福島市永井川字北原田
- 概要／S造2階建て建物4棟(農場管理実習室281㎡、畜産測量実習室428㎡、生徒作業準備室240㎡、農業水理実習室553㎡)。
- コンサル等／基本計画策定：田中建築設計事務所、設計：小坂建築設計工房
- 経過見通し／21年度に基本計画(耐震補強設計)

を実施。22年度に実施設計、23年3月にも発注手続き。21年度に南校舎(RC造3階建て延べ約4800㎡)の耐震補強設計も進めており、工事については優先度や財政状況などを見ながら実施される見通し。

◆福島明成高校実習棟耐震補強

- 事業主体／県立福島明成高校
- 場所／福島市永井川字北原田
- 概要／材料構造実習棟206㎡、収納作業室ほか575㎡、養蚕実習棟719㎡
- コンサル等／耐震診断：佐久間秀一級建築士事務所
- 経過見通し／21年度に耐震診断を実施。

◆福島東陵高校校舎大規模改修・耐震補強

- 事業主体／福島東陵高校
- 場所／福島市山居上3
- 概要／円型校舎の大規模改修・耐震補強
- コンサル等／設計：山内建築設計工房
- 経過見通し／新築中の南校舎(RC造3階建て延べ1505.6㎡、施工＝安藤組)に続き、施工者選定に入る見通し。南校舎の工期は23年7月末。

◆福島市新庁舎西棟

- 事業主体／福島市
- 場所／福島市五老内町
- 概要／RC造地下1階地上5階建て延べ約9500㎡、耐震構造
- 事業費／全体工事費137億円、建物(東西棟)124億、外構9億、現庁舎解体・工事監理業務4億
- コンサル等／山下設計・田畑建築設計事務所共同企業体
- 経過見通し／分棟式の新庁舎のうち、旧庁舎跡地に建設し議会部門と市民交流施設が入居する。1階が市民利用施設(会議室、多目的ホール、談話スペース、託児スペース)、2～5階が議場はじめ議会関係諸室となる。建物南側に市民広場、敷地西側に駐車場(107台分)を整備する。旧庁舎解体後の7月ごろの着工を予定しており、23年度当初予算に工事費を計上し、同年度早期に入札手続きに入る線が濃厚。建物は24年度末(25年3月)の完成、外構は25年内の完成予定。なお建物工事費は東棟の85億円を差し引いた約39億円が見込まれている。

◆飯野中学校校舎耐震補強

- 事業主体／福島市
- 場所／福島市飯野町字西志保井
- 概要／RC造3階建て延べ3157㎡
- コンサル等／耐震補強設計：平木建築設計事務所
- 経過見通し／22年度に耐震補強設計を行い、22